

「Satellite Industry Forum 2022」 惑星探査機「はやぶさ2」と宇宙船「神舟14号」 「第12回衛星放送協会オリジナル番組アワード」 石原慎太郎さんお別れの会

神谷 直亮

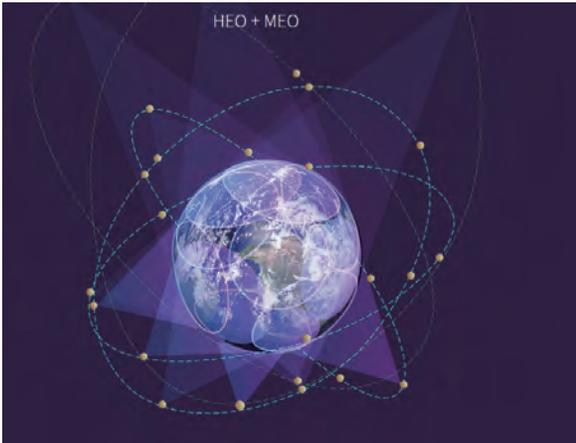


写真1 マンガタ・ネットワークスは、HEOとMEO衛星を駆使するグローバルな通信ネットワークの構築を狙っている。(出典：mangatanetworks.com)



写真2 タイコム社は、Globalstar社と組んでアジアでLEO衛星通信サービスを展開することになった。(出典：thaicom.net)

最初に衛星通信業界の前向きで明るいニュースに少し触れたいと思う。

5月31日にAsia Video Industry Association (AVIA) が主催する「Satellite Industry Forum 2022」がシンガポールのParkRoyal Collection Marina Bayホテルで開催された。

筆者は、まだコロナの呪縛から解放されておらず出席できなかったが、シンガポールで活躍する知り合いのジャーナリストの情報では、マンガタ・ネットワークス(Mangata Networks)とタイコム(Thaicom)が注目を集めたという。

マンガタ・ネットワークスは、2020年2月に設立されたばかりであるが、出資者としてシンガポール政府が所有する投資会社テマセク(Temasek)と韓国最大の通信事業者のKT Sat社が名を連ねていることでアジアでも注目的になっている。

今回の会議には、マンガタ・ネットワークスを代表してBrian Holz 創業者兼CEOが参加して「Future of Hybrid Networks」というタイトルで同社の構想を発表した。今からまた周回衛星かという感じがしないでもないが、マンガタ・ネットワークスの

構想をよく調べてみるとユニークな発想が2点ある。まず、HEO (Highly Elliptical Orbit) とMEO (Medium Earth Orbit) 衛星、地上のMangataEdgeマイクロ・データセンターとクラウドを統合するプロジェクトになっている。次いで、KaバンドとVバンドを使用するシステムを構築するのも注目だ。スケジュールに関しては、2024年に8機のHEO衛星を駆使して北半球をカバーすることでスタートし、後追いで24機のMEO衛星を打ち上げてグローバルカバレッジを達成する。サービスエリアの第一拠点として韓国、第二にシンガポー

ルを上げているのが興味深い。

バンコク郊外のヌンタブリに本社を構えるタイコム社のPatompob (Nile) Suwansiri CEOは、「Future of Thailand's Satellite Business」のタイトルで熱弁をふるった。同CEOによれば、米Globalstar社と3月末に締結したパートナーシップ契約に基づきLEO (Low Earth Orbit) ビジネスを積極的に推進することになったという。Globalstarは、日本を含めてすでに世界120か国に進出しており、タイコムにとっては、LEOビジネスへの進出とグローバルネットワークへの参



写真3 6月9日に渋谷のセルリアンタワーで行われた石原慎太郎さんのお別れの会に参列して故人をしのんだ。

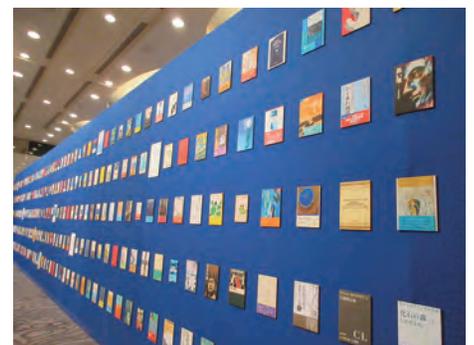


写真4 会場には、作家として石原慎太郎さんが残した著書の表紙が壁一面に飾られていた。

画という一石二鳥の成果を上げたと言える。日本における KDDI と Starlink の LEO 衛星パートナーシップに加えて、マンガタ・ネットワークスとタイコム・グローバルスターの登場でアジアの衛星ビジネスも世界の注目を浴びることになりそうだ。

今回のフォーラムでの予想外のニュースとしては、Kacific Broadband Satellite 社の Christian Patouraux CEO による「2機目の衛星の RFP を準備している」との発言が挙げられる。同社は、現在スカパーJSAT 社の JCSAT-1C 衛星に相乗りした「Kacific-1」衛星でフィリピン、パプアニューギニア、ニュージーランドなど 25 か国を 56 スポットビームでカバーしている。まだ具体的な構想の発表はないが、2機目の「Kacific-2」では、中央アジア、西アジア、東アフリカを狙うと思われる。

惑星探査機「はやぶさ2」と宇宙船「神舟14号」

6月になって知的好奇心を刺激するような2つの案件が宇宙業界で浮上している。一件は、JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」が2020年12月に地球に持ち帰った砂や小石を分析した結果、生命の材料となるアミノ酸が検出されたという。地球に落下した隕石からアミノ酸が検出されたことはあったが、宇宙で採取した試料からアミノ酸が確認されたのは初めてである。

読売新聞の6月7日号では、「これまでの解析で、グリシンやアラニンなど生物のたんぱく質をつくるアミノ酸が検出された。体内でエネルギーを生み出す反応に関係するアスパラギン酸やうまみ成分のグルタミン酸なども見つかった」と報じられている。

もう一件は、中国が6月5日に宇宙飛行士3人を乗せた宇宙船「神舟14号」を「CZ-2F(長征2号F)」ロケットで成功裏に打ち上げた。3人は、すでに投入されている宇宙ステーション「天和」に半年ほど滞在して、今後打ち上げられる実験棟の接続作業などを行う予定という。宇宙強国を目指す中国が、その象徴ともいえる「天和」のフル稼働・フル活用に近づいている。

「第12回衛星放送協会オリジナル番組アワード」

6月13日に衛星放送協会が優れたオリジナル番組・編成企画・番組宣伝・広告企画を表彰する「第12回衛星放送協会オリジナル番組アワード」を開催し、全部門の最優秀賞を発表した。

最も注目を集めた番組部門6ジャンルの最優秀賞を受賞した番組は次の通りであった。

(ドラマ) 連続ドラマW 東野圭吾「さまよう刃」(制作: WOWOW プライム)

(ドキュメンタリー) 希林と裕也〜トリックスター夫婦による昭和平成史〜(制作: NHK BS プレミアム)

(中継) フランス中継 恋しいパリ 第2部(制作: NHK BS プレミアム)

(文化・教養) 町田樹のスポーツアカデミア 特別編〜アーティストとアスリートの身体・精神論〜音楽家 反町恭平(制作: J Sports 4)

(バラエティ) 24時間まるごと 坂本浩一の特撮アクション 特別編(制作: 日本映画専門チャンネル)

(ミニ番組) 食が好き! 旅が好き!〜お取り寄せ#居酒屋新幹線〜(制作: チャンネル銀河)

衛星放送協会によれば、上記番組部門6ジャンルの最優秀作品の中から選ばれる栄えある「グランプリ」については、7月21日に発表する予定という。

次いで注目的になった編成企画部門、番組部門の最優秀賞受賞者は、次の通り発表された。

(編成企画部門)
連続グルメドラマ「#居酒屋新幹線」マルチプロジェクト(制作: チャンネル銀河)

(番組部門) 連続ドラマ「#居酒屋新幹線」続編特報

石原慎太郎さんお別れの会

最後に、私事で恐縮だが6月9日に渋谷のセルリアンタワーで行われた石原慎太郎さんのお別れの会に参列してきた。会場には、彼が好んだという湘南の海と空を連想させる祭壇が設けられ、両サイドにはヨットの帆が添えられていた。最も印象的であったのは、彼の200冊を超えと思われる著書の表紙が壁一面に貼りだされていた。いろいろな分野で精力的に活躍したが、やはり作家として「書くこと」にいかにか専念したかを浮き彫りにする光景であった。

石原さんと筆者は、一橋大学、一橋文芸の先輩後輩の間柄で思い出も多い。中でも最も印象に残っているのは、1960年に東京大学駒場祭での講演の後、駒場から当時日比谷にあった日活ホテルまで彼の小型オープンカーに同乗させてもらった。さらにホテルの地下にあったラウンジでジントニックをごちそうになった。話題は、もっぱらボクシングという記憶が残っている。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト





スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m 以下(地下駐車場可)

3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション

国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

<http://www.bizset.jp>



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコムコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

